月へ旅する日

榊原廣之

僕が月へ旅した日
それはそうだった

あまり高く飛びすぎたので

僕はどうやら宇宙空間へ出たらしい

月だ……
行ってみようと思った

何もないと思ったのに
近づいてみると滑走路が有る

アームストロング船長が造ったのかな？

せっかく来たんだちょいと探険としゃれこもう

やっぱりな
ゴツゴツしたクレーターばかりで何も無い

子供の頃は
月にウサギが
いると思って
たんだけど……
帰ると
するか

人が居る……
僕は我が目を
疑った

あのう……
もしもし

いやあ
お待ちしてま
した

僕はあなた
が来るのを
ずっと待っ
ていたので
すよ そう
ずっとずっ
と……

散歩でもしましょ

歩くって楽しいですねたとえこんな殺風景な所でも
どうして僕が来るのをあなたは知っていたのですか？

夢を見たんですよ
あなたも夢を見るでしょ
時として夢ってやつは真実を語るものですよ

あなたの飛行機だ

ウワーこいつはすばらしいや
僕はねえこれに乗って飛ぶ夢を何度も見たんですよ

うひゃー
ほんとに
すごいな
宙返り
できます
か？

しっかりつ
かまってて
ちょうだい

でも変だな
飛行機は空
気のない所
は飛べない
のに……
どうして
月まで
来れたの
か？

でも君は
夢でフワ
フワ空を
飛ぶでし
ょう
それなら現
実にだって
月に来れるさ

こいつは面白い　でも誰に読ますの
一人ぼっちでさみしくないの？

さみしいだなんてとんでもない太陽系の惑星にはそれぞれ一人づつ人が住んでるんだよ
その人達が読むんだよ

それに夢を信じる子供達や昔子供だった事を今も忘れてない大人が時々遊びに来るんだ
君みたいにね

月のゴルフだやってみない？
あのクレーターに入れるんだ

水星には洗濯屋木星にはかじ屋とそんな具合さ
No.2

一つの星に一人しか住んでないからボイジャーもアームストロングも生命を発見できなかったんだね
でも学校じゃ地球以外の星には人間はいないと教わったよ

学校ってそんな所さ先生達は一本の物差しで全てを測ろうとするんだ

君はハックルベリー読んだ事あるだろう

その時君はミシシッピーをイカダで下らなかったかい
ジムと歌を歌わなかったかい

多くの人はそれを忘れてしまってるんだ

冥王星のシェフにソーセージをたらふく注文したよ

冥王星の一年は二四七年かかるから彼はまだ十才なんだよ

TSUKINO BEERHALL

気が利くなあ火星の花火師のやつ 君を歓迎して特大花火を打ち上げてくれたよ